ビジネス童話

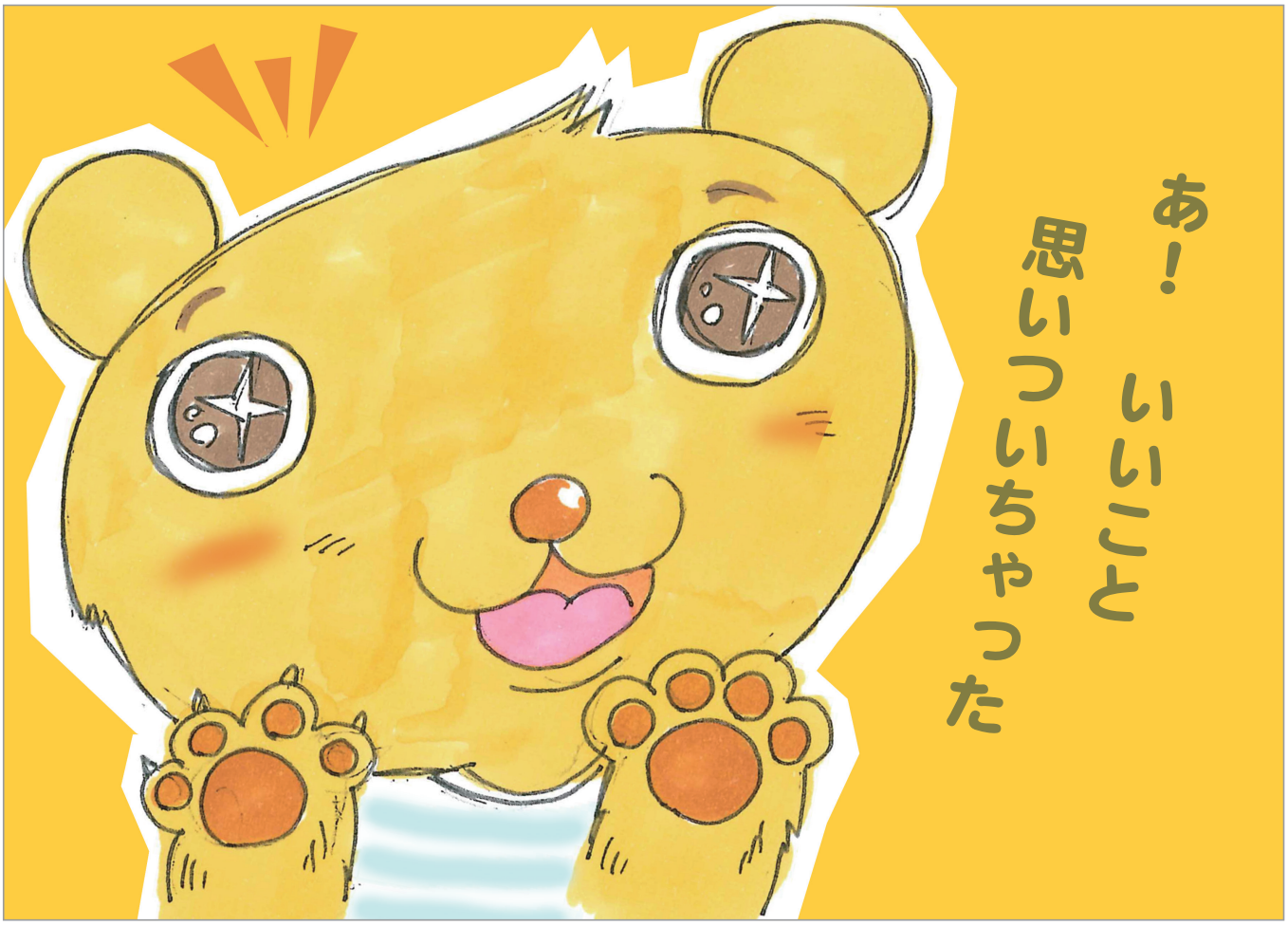
幸せになれる工務店

～街が笑顔と感謝であふれる物語～

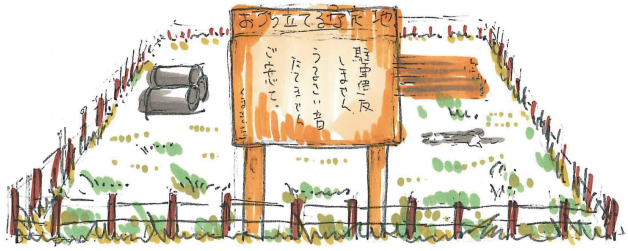
仕事のない工務店がありました。

クマ雄さんは、
工務店の社長さんです。
でも、最近は仕事もなく
元気がありません。

クマすけ君は、どうしたらお父さんの
会社が良くなるか考えました。


あ！
いいこと
思いついちゃった

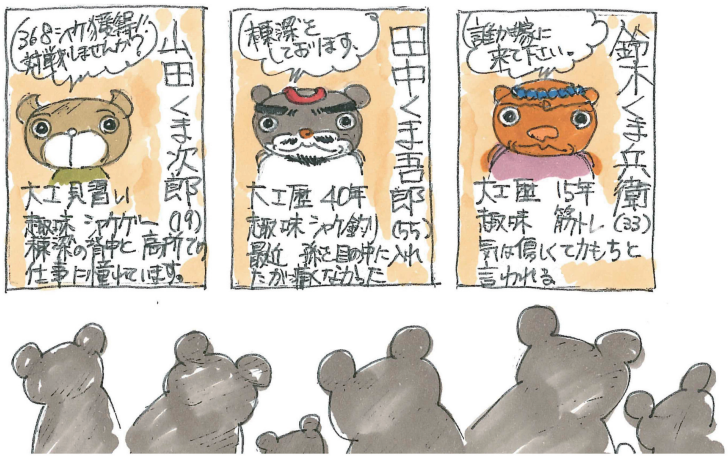
そして、書き上げたアイデアシート
タイトルは“幸せになれる工務店”
そこには、
三つのルールが書いてありました。
幸せになれる
くま工む店
その1 きんじょの人によろこんでもらう
その2 はたらく人がそんけいされる
その3 みんなが、なかよしになる。
3つのルールだよ！
ちがぁ～!!
コレ見て！

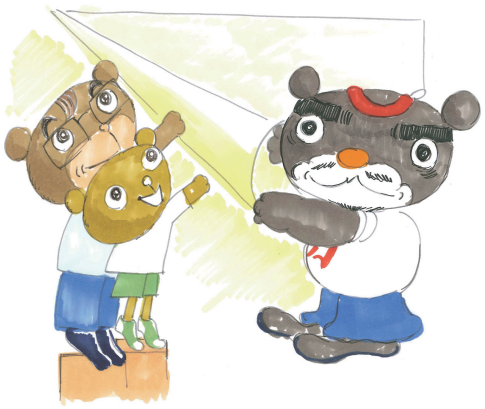


クマ雄さんはさっそく看板を立てました。
近所の人の迷惑にならないように、
工事関係者は電車やバスでやってきました。

釘をタオルで撒いて、ゴムをはさんでたたき、
音が出ないようにしました。
大工さん達は、手話で伝え合いました。

工事現場が静かになった事で、
赤ちゃんが良く眠れます。
大工さんは、近所の人達から感謝されました。

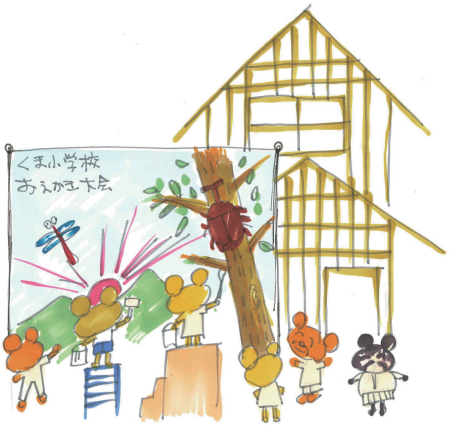




地元の人に安心してもらうために、
今日来る業者の方々を、
看板で紹介しました。

建設中の家で、壁紙の貼り方教室も開かれました。

覆い幕には、地元の小学校の子供達が
クラス毎に絵を書きました。
そして、工事現場は絵のコンテスト会場になりました。



工事現場に来る業者の方々はみんな笑顔で、
通りすがりの人にも挨拶しました。
とても町が明るくなりました。
そして、工事をしている町では泥棒がいなくなりました。

住民のみなさんを集めて消防訓練をしたり、
一人住まいの老熊を、
工事関係者が毎日見舞いました。

廃材を使って近所の人達と、
日曜大工をしたり、
おみこしを創ったりしました。

すると、町の人達から感謝の手紙が、
クマ雄さんのもとにたくさん届きました。

家を建てた人も、
町の人達から拍手で
迎えられました。

家を注文すると喜ばれる事を知った人達は、
みんなクマ雄さんの会社に注文をしました。

事業は難しく考えるのではなく、
最も大切なことを、シンプルに考えて、
今できることから取り組んでいくだけでいい。

”最も大切なこと”
それは、みんなが幸せになること。
社員、お客さま、仕入れ先、地域の人たち・・・
できることは無限にあるはず。
人を幸せにする事業は、必ず成功するから。

そして、それらを
子供の視点で見てみると、
意外と、わかりやすいかもしれない。

そんなことから、
それらを誰にでもわかるように
童話にして伝えようと思いました。

このお話によって、一人でも多くの方々が
ほんの少しでも、勇気が湧くことを願って・・・

「夢しか実現しない」

アントレプレナーセンター　福島正伸